



SCOPH

Public Health

2013.2.2

第2回スタッフミーティング 報告書

作成者 SCOPH 責任者 園田なおみ

作成日 2013.2.4

第2回スタッフミーティング

日時	2013年2月2日(土)
場所	東京セントラルユースホテル
目的・対象	【目的】2012年度の活動を振り返るとともに、2013年度の活動に向けた目標を見出すこと。 【対象】SCOPHスタッフ
参加人数	ミーティング25名 懇親会25名 宿泊15名
活動内容	「トレーニング」「2012年度振り返り」「2013年度これから」をプログラムの三本柱に掲げた。 1.アイスブレイキング 初めまして、お久しぶり、の挨拶代わりに「顔ジャンケン」、グループワークの肩慣らしに「チーム対抗！漢字選手権」を行った。 2.トレーニング「プレゼン/コーチング」 次期SCOPH責任者・増田が得意とするプレゼン、現SCOPH責任者・園田が得意とするコーチングを題材に、参加者の実践を重視したトレーニングを行った。 3.振り返り「プロジェクト2012」 次期の中心的な役割となるスタッフが、今年度の目標とその達成度を発表した。それぞれの活動成果を聞いた他プロジェクトスタッフから、フィードバックを集めた。 4.振り返り「SCOPH2012」 次期SCOPH責任者が、第1回スタッフミーティングで挙げた課題の”その後”について発表した。SCOPH全体で1年間取り組んできた成果を改めて確認し、その達成度を全員で共有した。 5.これから「未来の新聞」 -3年後、新聞にSCOPHが取り上げられた!!-をテーマに、SCOPHが自他共に認める魅力にあふれる活動になっている様子をイメージし、模造紙いっぱい未来の新聞を作成した。 6.これから「タイムマシン」 3年後の輝かしい未来を叶えるために、1年後・半年後・今、それぞれどんなことに取り組むべきか？SCOPH全体での振り返りを基に、新たな取り組みを模索した。

<p>自由記載欄 (感想、反省など)</p>	<p>2012年7月の第1回スタッフミーティングから早7ヶ月。夏の各種イベント、10月のSCOPH fes、11月のIFMSA-Japan 日本総会を乗り越えて、ひと回りもふた回りも成長したスタッフたちの姿があった。</p> <p>今回のスタッフミーティングの良かった点は、何よりもまず、主要なスタッフがほとんど顔を揃えることができたので、より踏み込んだ話し合いが叶ったことだ。引き継ぎを前にして、今期と次期の主要スタッフが1つの場で1年間を振り返ることができたのは、次年度の目標を考えるにあたって、大きな意味があるはずである。試験等で大変な時期でもミーティングに参加してくれた、SCOPH スタッフの高いモチベーションに感謝したい。</p> <p>また、各プログラムで毎回グループワークの時間を設けたことが良かった。主観的にも客観的にもSCOPHの活動を見つめ直せたので、各スタッフにとっては得るものが大きかったようである。特に、「未来の新聞」では、社会への発信を意識した、非常に面白いアイデアが飛び出し、新しい可能性を見出すことができた。</p> <p>一方、反省としては、3点気になる点があった。</p> <ul style="list-style-type: none">・新たなトレーニング内容を求める希望に添えなかった(→事前に希望調査を行い、ニーズに合ったトレーニングを用意する)・話し合いにかかる時間の見積もりが短かった(→スケジュールを組む時点でゆとりをもたせる)・グループワークの発表後、意見がばらばらにアウトプットされたままだった(→最後にファシリテーターがラップアップする時間を設ける) <p>SCOPH2012の任期は残り2ヶ月となったが、3月の主要イベントシーズンや4月の新歓シーズンが待ち受けている。今回のスタッフミーティングで高まったやる気や一体感を持続させるべく、年度の移行期間を通してスタッフ全体をサポートしていきたい。</p>
<p>スタッフ</p>	<p>活動責任者：園田なおみ(SCOPH 責任者) 福田開人、山本幸代、増田由茉、池田有理、野村朝子、植草由伊</p>

